



青山学院大学

〒150-8366

東京都渋谷区渋谷4-4-25

<http://www.aoyama.ac.jp/>

## 特集

青山学院大学の進路・就職支援

### 就職活動時期の変更に 惑わされず 早めの準備・対策を

## TOPICS

「青山学院市区長会」を開催

「世界の難民問題・UNHCRと国際社会が直面する課題」講演会

「グローバル時代のキャリア選択と仕事力」寄附講座を開催

スポーツ振興企画 特別講演会

「東京2020オリンピック・パラリンピックと大学スポーツ」

## AGU Lecture

日本の税金裁判および税制改革の焦点



青山キャンパス



高橋 邦丸  
就職部長(経営学部教授)

## 就職活動時期の変更に関わらず 早めの準備・対策を

う形で学生と接触したり、インターンシップで有望な学生がいるとその後も頻りに声をかけたりしています。この変更により、学生動向は二極化されているようです。つまり、活動開始が遅くなった分遅れて活動を始める学生と、逆に早めに動くことを意識している学生です。早く行動する学生は3年生の夏からインターンシップに参加し、自分に合った業種の分析をしたり、企業の方と積極的に接触したりしています。インターンシップは本来5日間以上とされていますが、実際には1dayや2daysのインターンシップが多く、そこで第一段階の選考をしている企業もあります。学生が仕事を知るといよりも企業が学生を知るためのものになっています。

学生が学業に専念できる時間を増やすことが就職活動解禁日変更の目的でしたが、実際には3年生の夏のインターンシップから4年生の8月の内定獲得時期まで、場合によっては1年にも

わたって学生は拘束される形になり、文部科学省等の思惑とは反対に就職活動が長期化しているのが現状です。このように学生にとっては新たな問題が増える変更ではありますが、留学はしやすくなりました。これまでは9月に留学して5～6月に帰国すると、既に採用を終了していた企業も多く、企業選定はかなり限定されていました。それが帰国後もまだ就職活動に間に合うので、4年間で卒業できるというメリットはあります。

### 大事なのは早めに行動を起こすこと

進路・就職センターの取り組みとしては、学生にこれまで以上に早い段階から進路や就職に関する意識を高めてもらうため、これまでは9月に開催していた第1回進路・就職ガイダンスを前倒して4月に行うようになりました。「ひとあし早く始める」と銘打った就活概論、就活準備、自己分析、エントリーシートの書き方など各種行事も行っています。一方、遅れて就職活動を始める学生のためにリスタート講座も開催しています。

今年から始めた新たな試みとしては、1年生を対象にしたグループ面談が挙げられます。3年生になると、就職のための準備

や業界研究に十分な時間を割くことが難しくなります。それまでにできることはいろいろあるので、1年生のうちから進路・就職センターと積極的に関わり進路について考えてもらおうという目的です。

このように、一部に新たな試みはありますが、本センターの活動自体はこれまでと大きく変わったわけではありません。中でも約1,200社の企業が参加する学内企業説明会は、本学の学生のためだけに企業が来校してくれるとあって、学生から好評を得ています。

また、進路・就職センターでは400回を超える講座を開催しています。一つでも多くの講座に参加して就職活動の参考にしたいという学生もいれば、自分が必要とする講座を見極め、重点的に参加するという学生もいます。しかし、進路・就職センターとほとんど関わらず、就職活動そのものにも積極的ではない学生もいます。この学生たちにどう振り向いてもらうか、それも今後の課題です。進路・就職支援システム『Web Ash』も8月末からリニューアルし、充実した講座をこれまで以上に積極的に利用してもらえよう、本センターの活動をさらに広くPRしていきたいと考えています。それが学生への就職支援につながっていくのです。

## 進路・就職年間スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
就職活動の流れ	エントリー・資料請求、会社説明会 エントリーシート(ES)・履歴書提出 筆記試験・テストセンター対策 面接・グループディスカッション(GD)					選考活動開始	正式内定日					卒業、入社
		インターンシップ準備	就職情報サイト プレオープン		夏休み インターンシップ	面接試験(内々定)	内定		冬休み インターンシップ	春休み インターンシップ	広報活動開始 就職情報サイト オープン	エントリー 資料請求 会社説明会 ES・履歴書 筆記試験
主な実施行事	①進路・就職ガイダンス	★校友会 OB & OGとのしゃべり場							★OB & OGによる 仕事・業界理解セミナー		③就職ガイダンス	学内企業説明会 (約500社)
	進路・就職 オリエンテーション	学内企業説明会(月1回実施)	インターンシップ ガイダンス					②就職ガイダンス	仕事研究セミナー			
			保護者対象 就職説明会(ペアレンツウィークエンド)				★校友会 OB & OGとのしゃべり場					★はOB・OGによる行事
							学内企業説明会・選考会(月1回実施)					

### 本学の進路・就職支援行事

青山キャンパスの進路・就職センターと相模原キャンパスの進路・就職課では、豊富な情報提供で幅広い進路サポートを行っています。支援行事プログラムは年間400回以上に及び、学内企業説明会は年間約1,200社もの企業が参加する規模です。公務員や教員を目指す学生を対象とした試験対策、U・ターン就職や女子学生、外国人留学生の就職といった様々なテーマについての対策講座も充実している他、4年生による就職活動報告が聞ける機会も設けられています。さらに早い時期から自らの将来の進路を考え、職業観や労働観を醸成するために、1、2年生を対象とした進路・就職オリエンテーション、講演会、インターンシップガイダンス、企業見学などの支援活動も実施しています。

開催プログラムは  
**年間400回以上**

学内での企業説明会  
**年間約1,200社**

**オリジナルウェブサイト『Web Ash』**

企業の基本情報以外にも求人、入社試験報告書、OB・OG、インターンシップなどの情報を提供しています。  
使いやすさを向上し、8月末にリニューアルします。

**学内企業説明会**

企業の採用担当者を大学に招き、会社概要や仕事内容などについて説明を受けます。昨年は年間約1,200社が参加しました。興味のある企業に直接質疑応答できる他、一日に、キャンパス内で、多くの企業の説明会に参加することで幅広い企業研究ができます。

**青山学院校友会在校生就職支援委員会**

本学の卒業生による就職活動支援で、「業界研究会」、「模擬面接会」、「しゃべり場」の3本柱で活動しています。業界研究会の実施にあたり作成した「業務フロー図」は、細部まで網羅した見事な出来栄。最も回数を重ねている模擬面接会は、キャンセル待ちが出るほどの人気です。しゃべり場とは就職活動前に本学OB・OGと話す機会を設け、働くことについて考える場です。イベント終了後はOB・OGが残ってラウンジを開放し、よろず相談のような場も用意するなど、委員会ならではのアプローチで在学生の就職活動を支援しています。

**個別相談**

青山キャンパスでは職員14名、専門相談員9名が、相模原キャンパスでは職員5名、相談員3名(繁忙期)が個別相談にあたっています。相談内容はインターンシップ、履歴書やエントリーシートの書き方、自己分析の仕方、面接対策、進学や留学、業界・企業研究の方法など様々。相談員がアドバイザーとして学生と共に話し合うことで、一人一人が納得できる卒業後の進路選択を行っています。また、就職部長も週1回相談日を設けて、学生へのアドバイスをしています。「進路選択の心強い味方」と親しまれており、在学生の2人に1人が利用しています。

**資料室**

進路・就職センターや進路・就職課の資料室では、卒業生の内定先企業などを学部・学科別、業種別に閲覧できるようになっています。また、進路・就職関係の雑誌や書籍、業界新聞、会社案内、公務員・教員関連資料、U・ターン就職資料などの資料も充実しています。

## 3年生の夏から進路・就職センターに相談。 随時アドバイスをいただきながら自分のペースで就職活動。



飯田 夏帆さん  
経済学部 経済学科4年  
私立頤友学園女子高等学校出身

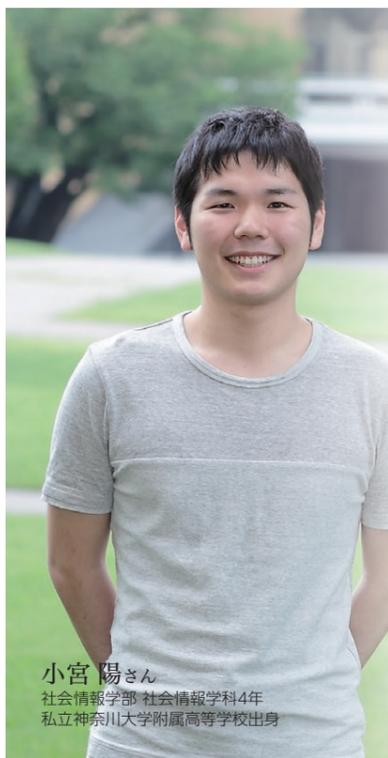
3年生の夏休み、インターンシップに参加しようか迷っていたので青山キャンパスの進路・就職センターに相談に行ったところ、「エントリーシート作成の対策にもなるのでまずは提出してみて、結果が出たら考えれば良いのでは」と助言していただきました。結局2社に参加しましたが、学ぶことが多く勉強になりました。さらに2月に地方銀行のインターンシップに参加したことで、金融業界に就職したいという目標が明確になりました。進路・就職センターで「銀行を志望するなら信託銀行も見た方が良い」とアドバイスを頂き企業研究を進めたところ、最初に目指していたメガバンクよりも信託銀行の方が自分らしく働けるのではないかなと思うようになりました。そこで、業務の幅が広く、キャリアを築く上でも専門性を高められる信託銀行を第一志望に決めました。就職活動をスタートさせたばかりの頃は説

明会やセミナーに追われ、じっくり自分のことを考える余裕がなく、スケジュール管理や取捨選択の大切さを痛感しました。また、本格的に就職活動を始めてからも進路・就職センターにはよく足を運び、エントリーシートの添削をしていただいたり、就活中のささいな不安を相談したりするなど親身にサポートしていただいています。特にエントリーシートは自分とは異なる視点からアドバイスが得られ、より分かりやすいものを書く上で大変役立ちました。8月の面接まで、自分のペースを守りつつ就職活動を進めていきたいと思っています。

### 就職活動に関するスケジュール

- 1年次**  
[4月] 進路・就職オリエンテーションに参加
- 3年次**  
[8月] 2daysインターンシップ、5daysインターンシップに参加  
[2月] インターンシップに参加、自己分析  
[3月] 学内企業説明会、企業説明会に参加、OB訪問スタート
- 4年次**  
[5～6月] ES提出  
[6月] 面接スタート

## インターンシップでの面接の経験がターニングポイントに。 進路・就職課で気軽に相談でき、適確な助言をいただきました。



小宮 陽さん  
社会情報学部 社会情報学科4年  
私立神奈川大学附属高等学校出身

発展途上国の住宅建築支援を行うサークルに所属していて、タイやモンゴルなどへ家を建てるボランティアに行きました。こうした経験から就職は不動産業界に興味を持ち、3年生の夏にまずは2社の1dayインターンシップに参加しました。さらに春休みにはもう少し長い期間のインターンシップに参加したいと思い、その情報収集のため、秋頃から相模原キャンパスの進路・就職課に足を運ぶようになり、ここで非常に役立つのが掲示板です。随時最新の情報が掲示されていて、初めて知ることがたくさんありました。また、利用する学生がちょうど少ない時期だったこともあり、掲示板を見ていると「どんな情報を探していますか」と進路・就職課の方が気軽に声をかけてくださり、雑談しながらアドバイスをいただくことが多々ありました。就職活動のターニングポイントになったのは、春に申し込んだインターンシップ2社がいずれも面接で不合格になったことです。

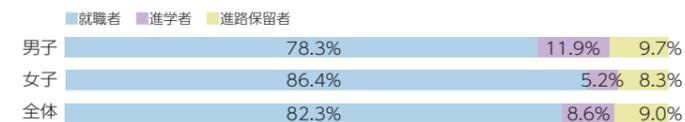
ショックでしたが、「自分が今まで何を体験してきたのか」「何をしたいのか」を自分の言葉で表せなかったのが原因だと気づき、徹底的に自己分析を行いました。その後は青山と相模原キャンパスの学内企業説明会で50社以上回ったり、生命保険業界も視野に入れ業界セミナーに参加したり、面接前に『Web Ash』の卒業生の入社試験報告書情報を必ず見るようにしたりと、自分なりのスタイルで就職活動をしています。進路・就職課は足を運ぶほど得るものがあるので、後輩たちには早い時点からどんどん利用することを強く勧めたいです。

### 就職活動に関するスケジュール

- 3年次**  
[8月] 進路・就職セミナーに参加  
1dayインターンシップに参加(2社)  
[2月] 学校開催企業セミナーに参加、2daysインターンシップに参加、自己分析(自分史の作成)、就職支援団体セミナーに参加、SPIの勉強
- 4年次**  
[3月] 学内企業説明会、企業説明会・OB訪問・面接スタート  
[4月] セミナーに参加  
[5月] ES記入、SPI 3 適性検査受検

### 進路決定状況(全体)

	男子	女子	全体
2015年3月学部卒業生	1,957名	1,904名	3,861名
進路決定者	1,765名	1,745名	3,510名
就職者	1,532名	1,646名	3,178名
進学者	233名	99名	332名
進路保留者	190名	158名	348名
進路届未提出者	2名	1名	3名



・「進路決定者」は「就職者」と「進学者」の合計  
 ・「就職者」は新規採用決定者、自営業者、現職継続者、臨時雇用者の合計  
 ・「進学者」は本学大学院、国内他大学・大学院、海外大学・大学院、専門学校へ進学した学生の合計  
 ・「進路保留者」は進学・留学準備者、各種試験準備者、ボランティア・主婦(主夫)、就職活動継続者などの合計

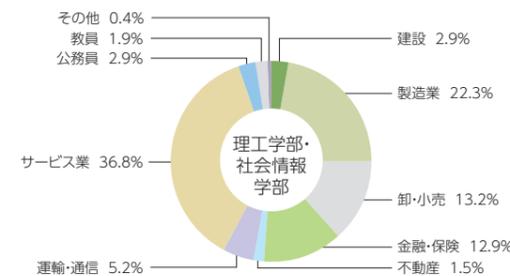
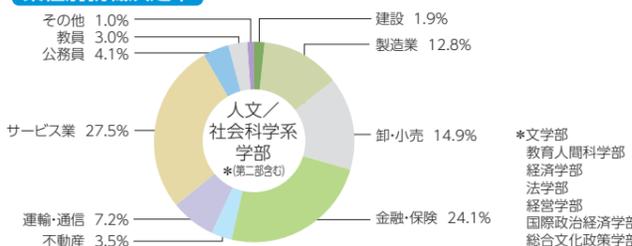
### 進路決定状況(学部別)

第二部は文・経済・経営(いずれも募集停止)の合計

	文学部	教育人間科学部	経済学部	法学部	経営学部	国際政治経済学部	総合文化政策学部	理工学部	社会情報学部	第二部	全学合計
2015年3月学部卒業生	712名	346名	501名	488名	519名	268名	246名	552名	209名	20名	3,861名
進路決定者	632名	318名	452名	429名	482名	238名	219名	531名	198名	11名	3,510名
就職者	596名	294名	444名	401名	470名	218名	213名	339名	192名	11名	3,178名
進学者	36名	24名	8名	28名	12名	20名	6名	192名	6名	0名	332名
進路保留者	79名	28名	49名	58名	37名	30名	27名	21名	11名	8名	348名
進路届未提出者	1名	0名	0名	1名	0名	0名	0名	0名	0名	1名	3名



### 業種別就職決定率



### 就職者数上位企業

人文/社会科学系学部・研究科	理工学部・研究科(博士前期課程)	社会情報学部・研究科
みずほフィナンシャルグループ	日本電気	ソフトバンクグループ
三井住友銀行	日産自動車	ネットワンシステムズ
三菱東京UFJ銀行	東日本旅客鉄道	三井住友銀行
りそなグループ	本田技研工業	SMBC日興証券
SMBC日興証券	富士通フエス	日立システムズ
	野村證券	NECソリューションイノベータ
		全日本空輸
		日立製作所
		みずほフィナンシャルグループ
		三菱UFJ信託銀行
		三菱UFJモルガン・スタンレー証券
		横浜銀行
		りそなグループ

### 教員採用(専任のみ)

幼稚園/10名(公立1名、私立9名)  
 小学校/37名(公立34名、私立3名)  
 中学校/18名(公立18名)  
 高等学校/21名(公立11名、私立10名)

### 公務員採用

国家公務員/16名 (内閣府・総務省・国土交通省・厚生労働省・農林水産省ほか)  
 都道府県: 東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、栃木県、静岡県ほか  
 東京特別区: 荒川区、板橋区、江東区、渋谷区、新宿区、台東区、中央区、目黒区  
 市町村: 川崎市、さいたま市、相模原市、横浜市、立川市、町田市、御殿場市ほか  
 警察官・消防官: 警視庁、埼玉県警察、神奈川県警察、千葉県警察、三重県警察、東京消防庁ほか

### 進路に関する満足度

進路・就職活動の成果についての満足度を5段階(満足・ほぼ満足・普通・やや不満・不満)で調査したところ、青山キャンパス(人文・社会科学系学部)に通う学生の75.0%が「満足・ほぼ満足」と回答。また、進路・就職センターの利用率は全体で68.3%で、特に学内企業説明会、就職支援システム『Web Ash』、個別相談、セミナー等学内行事の利用率が、どの学部でも高いことが目立ちました。支援体制の満足度(5段階評価で「満足・ほぼ満足」と回答)はセンター利用者全体の66.8%で、支援活動利用と進路満足度との関係では、利用者の方が全体よりも高い(利用者:76.8%、全体:75.0%)ことが分かりました。

一方、相模原キャンパス(理工・社会情報学部)では、79.8%の学生が自身の進路について「満足・ほぼ満足」と回答。進路・就職支援部署の利用率は全体で71.6%(相模原キャンパス進路・就職課:62.8%、青山キャンパス進路・就職センター:1.5%、両方とも:7.3%)で、特にES添削、模擬面接などを含む進路・就職に関する個別相談の利用が多く見られました。支援体制に対する満足度は67.4%で、進路・就職支援部署を利用した学生の進路満足度は、利用しなかった学生よりも高く(利用者:81.9%、非利用者:74.2%)、進路就職支援部署の利用と進路満足度の相関関係がうかがえる結果となりました。

## 「青山学院市区長会」を開催

2015年6月9日(火)、「青山学院市区長会」が開催されました。これは一昨年から開かれている会で、本学の卒業生で現在都道府県の市長もしくは区長をされている方々の意見交換会です。メンバーは同会の会長を務めておられる日光市の斎藤文夫市長、同会事務局の総社市 片岡聡一市長をはじめ、北から順不同でご紹介すると、釧路市 蝦名大也市長、見附市 久住時男市長、あきる野市 臼井孝市長、足立区 近藤やよい区長、墨田区 山本亨区長、大和市 大木哲市長、福山市 羽田皓市長、高知市 岡崎誠也市長、田川市 二場公人市長、佐世保市 朝長則男市長の

12名で、当日は10名の方が出席されました。

大学時代の思い出話、地元での選挙での苦労話、さらには地方創成のもと各市の活性化に関する独自の取り組みについての情報交換など、校友同士ならではの打ち解けた雰囲気、活発な意見交換の会となりました。今後このような校友のネットワークを広げていきたいと考えております。(学長 仙波 憲一 記)



## 「世界の難民問題：UNHCRと国際社会が直面する課題」講演会

2015年5月14日(木)、青山キャンパスのガウチャー記念礼拝堂において、国連難民高等弁務官事務所(以下 UNHCR)副



高等弁務官アレクサンダー・アレニコフ氏来日記念講演会「The global refugee situation; challenges faced by UNHCR and the International Community(世界の難民問題：UNHCRと国際社会が直面する課題)」を本学とUNHCR駐日事務所で開催しました。

当日は遅い時間の開催にもかかわらず、本学学生、高等部の生徒、教職員とUNHCR関係者の約270名が参加しました。

講演の中でアレニコフ氏は、世界の難民、避難民の置かれている状況とUNHCRの活動や課題について話されました。

特にシリア危機においては周辺の国々が多くの難民の受け入れを行っている一方で、受け入れ自体が限界に達しつつあり、難民の中には他国に庇護を求めて移動中に命を落とす者もいると

いう現状にふれました。さらに庇護国での移動の自由、就労機会の確保など、「難民がどんな状況下でも尊厳ある人生を送れることが重要である」と語りました。

アレニコフ氏はアメリカの司法省移民帰化局副長官やジョージタウン大学副学長などを歴任され、実務と研究の両側面から難民問題に関わってきた経験を生かし、2010年2月よりUNHCRの副高等弁務官に就任。以降、UNHCRにおいては、人道的な見地から紛争や迫害によって故郷を追われた世界の難民の保護と、難民問題の解決に向け同機関の中心的な役割を果たしてきました。

最近ではグローバル企業とのパートナーシップの深化を通じた難民支援活動のイノベーション推進や国際協力機構(JICA)との人道支援や開発支援の連携など、革新的な取り組みも行っています。

本学との関わりとしては難民支援の一環として、UNHCRとの間で「難民高等教育事業」に関する協定を締結し、2008年度より、難民を対象とした推薦入試を行っています。

## 「グローバル時代のキャリア選択と仕事力」寄附講座を開催

全学共通教育を担当する青山スタンダード教育機構では、2015年5月16日(土)から6月6日(土)までの4週間、毎週土曜日の2、3限目を使って「グローバル時代のキャリア選択と仕事力」と題して寄附講座を開講しました。寄附企業は、外資系企業で活躍されている方々が集まって設立された「GAISHIKI LEADERS(外資系リーダーズ)」です。

寄附講座の狙いは、グローバル化が進む今日、学生が持つべきマインドセットやこれから身に付けるべきスキルを、外資系企業でキャリアを積んだ方々から直接伺おう、というものです。講師の8名は、日本法人の社長・CEOの方々と、普段はなかなか伺うことのできない貴重な講座となりました。



た。5月30日(土)には、本学出身でプライスウォーターハウスクーパーズ株式会社執行役員・パートナーである松永エリック・匡史氏を講師にお迎えしました。質問の時間も十分にとっていただき、参加した学生は様々な視点から活発に質問をしていました。

青山スタンダードでは、5年前に「キャリアの技能」という領域を新設して、学生に対するキャリア教育の充実を図っていますが、「外資系企業」という切り口は初めての試みで、学生の評判も良く、より一層発展させていきたいと考えています。

(青山スタンダード教育機構 教育開発センター 所長・総合文化政策学部長 堀内 正博 記)

## スポーツ振興企画 特別講演会 「東京2020オリンピック・パラリンピックと大学スポーツ」



水野 正人氏

### Profile

1943年生まれ。1966年甲南大学経済学部卒業、同年美津濃株式会社入社。1988年同代表取締役社長に就任。2007年日本オリンピック委員会(JOC)副会長就任、2011年東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会CEO就任。招致活動を終え、2014年ミズノ(美津濃)株式会社社長に就任。2014年旭日中綬章を受章。



広瀬 一郎氏

### Profile

1955年生まれ。1980年東京大学法学部卒業。同年株式会社電通に入社、多くの国際的スポーツ事業に関わる。2000年に退職後はスポーツビジネスのコンサルティングを行う一方でスポーツマンシップの啓蒙普及に努めている。スポーツ総合研究所株式会社社長、特定非営利活動法人スポーツマンシップ指導者育成会理事長。

2015年6月3日(水)、青山キャンパスの本多記念国際会議場において、本学体育会の学生等を対象としたスポーツ振興企画特別講演会を開催しました。記念すべき第1回講演の講師にお迎えしたのは、ミズノ(美津濃)株式会社会長の水野正人氏と、スポーツコンサルタントでスポーツ総合研究所株式会社社長でもある広瀬一郎氏。本学社会情報学研究所の佐藤敏彦特任教授の司会のもと、仙波憲一学長が「今日の話が皆さんの今後の活動の一つの指針となればいいと思います」という開会の挨拶で、スタートしました。

水野氏の基調講演のテーマは「大学スポーツが輝くとき」。2013年9月、2020年のオリンピック開催地を決定するIOC総会では最終プレゼンターとしてスピーチを行い、東京誘致の立役者となりました。「東日本大震災で、一度は招致を諦めかけました。ところが東北3県の知事が全員、『東北の、日本の元気のもとになってくれるからぜひ招致してほしい』と仰ってくださいました。そこで私もミズノの代表取締役会長を辞任して、招致活動に専念しました」と、これまでの道のりを振り返りました。

また、オリンピック開催の意義は見事に復興した東北をお披露目し、日本は安全で安心できる国だと世界に発信すること、さらに「IOCはオリンピックが成功したか否かを10年後に判断するので、2020年以降にどれだけ素晴らしい社会を築けるかが課題」と語りました。学生に対しては「試合で勝つ人は一様にのびのびとしているのが特徴。これからの日本を背負って立つ皆さんも、ぜひのびのびと競技に打ち込んでください」とエールを送りました。

続いて「日本のスポーツが五輪開催までにすべ

きこと～スポーツの価値を実現化するために～」をテーマとした広瀬氏の意見発表が行われました。オリンピックはスポーツの祭典でありながら1964年の東京オリンピックを記念した祝日が「体育の日」になったことについて、日本ではスポーツと体育が混同されていることを指摘。スポーツとは「知育・徳育・体育」が統合されたものであり、自立した人格教育はスポーツを通じて修得されると語りました。そして「オリンピックに向けて自分がすべきことは何かを考え実行に移す、それが学生の皆さんがしなければならないこと。しっかりと当事者意識を持ってほしい」と締めくくりました。

その後はコーディネーターに広瀬氏、パネリストに水野氏と佐藤教授のほか、ロンドンオリンピックレスリング男子グレコローマンスタイル55キロ級に出場した本学職員の長谷川恒平氏と、陸上競技部短距離ブロック所属、教育人間科学部教育学科3年の藤森安奈さんも加わり、『東京2020オリンピック・パラリンピックと大学の連携について』というテーマでパネルディスカッションが行われました。佐藤教授が「医師として健康問題に長く関わってききましたが、高齢者の健康は医師だけでは解決できません。年を重ねてもいかに健康でいられるかを考えた結果、スポーツにたどり着きました」と、今回の企画を提案した背景を紹介。水野氏と佐藤氏は「何事にも疑問を持つことが成長の第一歩」と語り、長谷川氏も準備運動の具体例を挙げ「競技の特性に合った準備運動をしているか考えてほしい」と提案しました。藤森さんは「調子が悪いときはその理由をいろいろ考えるのに、良い結果が出たときはその原因をフィードバックしてきませんでした。今後のことも意識していきたいです」と話しました。最後の質疑応答では、学生から「オリンピック選手になると敗因分析は負けた直後から行っているのか」「マイナーなスポーツがオリンピックの競技種目になるにはどうしたらよいか」などの質問が出ました。約400名の学生たちは3時間に及んだ講演会を終始熱心に聴き入り、講師やパネリストの皆さんの話から大いに刺激を受けたひとときとなりました。





## AGU Lecture 077



# 日本の税金裁判および 税制改革の焦点

三木 義一

法学部長・法学研究科長

税法の基本的な仕組みを理解すると同時に、論理的にもものを考える力を付ける。本ゼミナール(ゼミ)ではこの二つを重点的に学んでもらうようにしています。論理的に考えるというのは法学で最も大事なことで、リーガルマインドとはまさに物事を論理的に考え、公正さを踏まえた上で判断する能力です。また、主張が対立してトラブルになった場合、正義は一つではありません。そういうこともゼミで学んでほしいので、授業はディベート形式が中心です。ときには他のゼミや大学ともディベートを行って、多様なものの見方を身に付けられるようにしています。

ディベートの実力とは、ある程度までは知識の差で、その先は技術の差となります。学ぶほど伸びるので、ゼミ生も3年生と4年生では実力に雲泥の差があります。議論や討論で自分の意見を主張するのは苦手という学生もいますが、どの世界でも自分が専門性を発揮しようと思っただけでやらねばならないことがあります。法学部に入学して専門的な知識を身に付けようとしている以上、苦手意識があるゼミ生でもディベートに取り組まなければなりません。そしてディベートで負けるのも

良い勉強になります。正々堂々と議論し、その結果負けて悔しい思いをすることは、奇策を弄して勝つよりも、よほどためになるものです。

私は2009年からは弁護士として、税務訴訟を中心とした実務にも携わってきました。税が分かる弁護士が少ないことを憂慮したため、異議申し立てや審査請求なども行っています。ただ、大学の業務との両立はなかなか時間的に厳しく、本当はもう少し税務訴訟関係にも貢献したいと思っています。

ゼミで目指すのは「論理と人情と常識」を大事にする税法学です。法律は人間社会の約束事ですから、みんなが納得できるものでなければなりません。それゆえ、税法を学ぶ上で大切なことは、正義感だと思います。「われわれがつついている社会をわれわれがどう支えていくか」という観点から、私はそう考えています。「税法はお金の計算ばかりしているので大切なのは技術」とも言われますが、私は実はそうではないと思ってやってきました。ですから常に弱者の味方でありたいし、ゼミ生たちにもそうであれという指導を行っています。



三木ゼミ生  
二見 康亮さん  
法学部 法学科3年  
私立逗子開成高等学校出身

法学部には法律を研究しているゼミがいくつもありますが、私はその中でも税法に興味があり、三木先生のゼミを選びました。三木先生のゼミを選んだ理由は、著書を読んで税法に興味を持ち、そして何より先生の人柄に惹かれたからです。現在ゼミは3、4年生合わせて45名と大所帯で、3年生と4年生と一緒にバーベキューをするなど交流も活発でにぎやかです。

ゼミは税法判例に関するディベートが中心で、豊富な経験と知識のある税のスペシャリストである三木先生から学べることはとても勉強になります。先生が複数のゼミ生グループとディベートすることもあります。こちらが何人で向かって先生には敵いません。また、青学内の税法ゼミはもちろん他大学の税法ゼミとディベートでの交流があります。交流をすることで刺激を受け、勉強の励みになり、そして、自分の成長を感じることもできます。

消費税や所得税などは、名前は知っているでもその中身までは良く理解できていませんでした。しかし次第にこれらの税の仕組みが分かるようになり、税法を学ぶ面白さを感じます。また、自分の生活と身近に関わっている法律なので、なおさらそう思います。

# Information

## 対東北学院大学総合定期戦報告

2015年6月6日(土)から6月8日(月)までの3日間にわたり、第66回対東北学院大学総合定期戦が東北学院大学にて開催されました。

初日は杜の都、仙台市街でパレードが行われ、応援団、吹奏楽パトントワリング部を中心に約200名が参列し、開会を大いに盛り上げました。土樋キャンパスでは両大学の学長が見守る中、柔道、剣道の試合が行われ、相手の一瞬のスキを狙った緊張感ある攻防に目を見張りました。また、多賀城キャンパスでは洋弓と軟式野球の試合が行われ、一進一退の白熱した戦いが繰り広げられました。

2日目は泉キャンパスでバレーボール(男・女)、アメリカンフットボール、卓球(男・女)の試合が行われました。初夏の爽やかな気候の中、両校の熱戦が繰り広げられました。快晴の空の下、七ヶ浜町の花淵浜ではヨット部、名取市の仙台カントリーではゴルフ部が互いの力を存分に申し合いました。

また、スポーツだけでなく、吹奏楽部の交歓演奏会や応援団によるリーダー公開が行われ、総合定期戦を華やかに彩りました。

総合成績は本学が20点、東北学院大学が24点となり、今年度は敗れてしまいました。来年は優勝杯を取り戻す決意をすると共に、歴史ある総合定期戦が次世代にも引き継がれ、両校の絆と友情を一層深めていくことを願っています。



## Happy くらす作品コンクール 「私を成長させてくれた授業」作品募集中!

現在、FD活動(Faculty Development 大学教育改善のための取り組み)として、「Happy くらす作品コンクール」を開催中です。自分の成長を感じた授業の思い出を共有することで、本学の授業を改善してみませんか?

### 今年度テーマ「私を成長させてくれた授業」

青学学生の皆さんが、自分の成長を感じた授業の思い出を聞かせてください。講義を通して得た発見や感動、体験、成長などを作品にして応募してください。



昨年度 Happy くらす作品コンクール授賞式の様子

### 応募ジャンル

次の三つのいずれかから選んでください。

**散文部門**：エッセーなど、文章で表現する作品。

**韻文部門**：詩、俳句、短歌、川柳など、短い韻文で表現された作品。

**漫画部門**：漫画(四コマ漫画、ストーリー漫画など) その他詳細は下記本学ウェブサイトを参照してください。

### 応募方法

青山学院大学ウェブサイト  
([http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/info/detail\\_20.html](http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/info/detail_20.html))から応募用紙をダウン

ロードし、必要事項を記入した応募用紙と作品のファイルを添付のうえ[agufd@aoyamagakuin.jp](mailto:agufd@aoyamagakuin.jp)あてにご提出ください。以下の問い合わせ先に直接紙媒体で提出していただいても結構です。

### 提出締切

2015年10月30日(金)必着

### 問い合わせ先

学務部教育支援課(青山キャンパス)  
TEL.03-3409-4165  
相模原事務部学務課 教育支援担当(相模原キャンパス)  
TEL.042-759-6003

## 第4回「情報の探索と表現」コンテスト 作品募集!

青山学院大学図書館・青山学院女子短期大学図書館では、本学学生のレポート作成スキル、および情報検索能力の向上を目的として、第4回「情報の探索と表現」コンテストを実施します。本学図書館で利用可能なオンラインデータベース「AFP World Academic Archive(AFP WAA)」、「朝日新聞記事データベース『聞蔵IIビジュアル』」、「ジャパンレヅジLib」、「日経BP記事検索サービス」を活用して、あなたの「オリジナルの雑誌記事」を作成してコンテストに応募してください。

### 応募テーマ

●個人部門  
(日本語区分/英語区分/フランス語区分)

●グループ部門  
(日本語区分/英語区分/フランス語区分)

「オリジナルの雑誌記事をつくらう! ~日本の知らない世界、世界の知らない日本~」  
オリジナルの雑誌記事には写真(AFP配信の画像)を掲載してください。記事の分量は、個人部門はA4サイズ1枚、グループ部門はA4サイズ4枚です(タテヨコは自由)。文章は日本語、英語またはフランス語で作成してください。

### ●英語見出し部門

「ニュースにオリジナルの英語見出しをつけよう!」  
AFP WAAから一つの記事を選び、オリジナルの見出しを英語でつけてください。また、その記事を取り上げた理由について短い英文で説明してA4

サイズ1枚にまとめてください。

### 応募資格

青山学院大学(大学院・科目等履修を含む)および青山学院女子短期大学(専攻科・科目等履修を含む)の学生(本学のメールアドレスを利用できること)

### 賞品

●iPad mini(AFP WAA提供) ●Apple Watch Sport(日経BP社提供) ●ロボット掃除機ルンバ(朝日新聞社提供) ●オリジナル作品集(富士ゼロックス提供) ●図書カード など多数

### 応募方法(作品提出方法)

作品と応募用紙を大学図書館カウンターに提出してください。メールでの応募については要項でご確認ください。

### 応募期間

2015年10月1日(木)~10月28日(水)閉館10分前(最終21:30)まで

### 問い合わせ先

青山学院大学図書館本館(青山キャンパス)  
TEL.03-3409-7833  
青山学院大学万代記念図書館(相模原キャンパス)  
TEL.042-759-6027



昨年のグランプリ受賞作品(4ページ作品の1枚目)

応募の際は必ず「募集要項」をご確認ください。図書館各館で配布中。図書館ウェブサイトからダウンロードできます。

<https://www.agulin.aoyama.ac.jp/>  
本学学生は自宅等の学外からもAFP WAAなどの図書館契約データベースを利用できます。

## 夏期休業期間中の窓口案内 対象期間 8/3(月)～9/16(水)

原則以下の通り窓口を閉室します。

- 8月6日(木)～8月12日(水)＜一斉休業期間＞
- 8月19日(水)、8月26日(水)
- 土曜日・日曜日・祝日

\*進路・就職センターと進路・就職課は一斉休業期間と8月の水曜日も閉室します。詳細は、本学ウェブサイトや『Web Ash』をご確認ください。  
\*以上の日程以外にも、部署により閉室する場合がありますので、本学ウェブサイトでご確認ください。9月17日(木)より平常通り開室します。

夏期休業期間中の  
窓口案内の詳細は

本学  
ウェブサイト  
をご覧ください。

## 2015年度 保護者の方対象説明会

本学では、大学後援会事業の一環として、在学生の保護者の皆さまに大学の近況や学生の皆さんの成績・進路・就職などのご相談やご意見をお伺いするために、経験豊かな大学教職員が協力して説明会や個別面談を通してより一層大学のことを知っていただくイベントを開催しています。

### キャンパス開催実施状況報告

1、3年生の保護者の皆さまを対象としたペアレンツウィークエンドは、5月23日～6月27日の土曜に各キャンパスで開催しました。多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。学業・就職説明会では、各担当職員が詳細にご説明し、さらにご質問がある方は個別相談にご参加いただきました。1年生対象のキャンパス見学会では、パイプオルガンコンサート、ボランティア学生によるキャンパスツアーも盛況で、保護者の皆さまもご満足いただけたようです。



就職説明会 学業説明会 就職個別面談

### ペアレンツウィークエンド(地方父母懇談会)

2015年度は、全国18会場において、順次実施いたしました。ご参加いただいた保護者の皆さまに深く感謝いたします。

### 開催内容

- 受付(DVDによる学校紹介)
- 懇親会(立食)
- 全体説明会
- 個別面談(希望者のみ)

### ペアレンツウィークエンド(地方父母懇談会) 開催日程・会場一覧

対象都府県	対象都市	開催日	会場名
北海道	札幌	7月4日(土)	ニューオータニイン札幌
岩手	盛岡	7月26日(日)	ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
宮城	仙台	8月1日(土)	ホテルメトロポリタン仙台
福島	福島	6月21日(日)	ザ・セレクトン福島
栃木	宇都宮	6月27日(土)	宇都宮東武ホテルグランデ
群馬	高崎	7月18日(土)	ホテルメトロポリタン高崎
山梨	甲府	7月5日(日)	常磐ホテル
静岡	静岡	6月27日(土)	ホテルアソシア静岡
富山	富山	7月12日(日)	富山第一ホテル
愛知	名古屋	7月20日(日)	キャッスルプラザ
京都	京都	7月12日(日)	リーガロイヤルホテル京都
兵庫	神戸	6月7日(日)	ANAクラウンプラザホテル神戸
広島	広島	7月26日(日)	ホテルグランヴィア広島
愛媛	松山	8月1日(土)	松山全日空ホテル
福岡	福岡	6月21日(日)	ホテルニューオータニ博多
佐賀	佐賀	7月11日(土)	ホテルニューオータニ佐賀
熊本	熊本	7月25日(土)	ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ
沖縄	那覇	6月7日(日)	パシフィックホテル沖縄

### 問い合わせ先

庶務部庶務課 ペアレンツウィークエンド 担当  
TEL. 03-3409-8568  
<http://www.aoyama.ac.jp/life/parents/parentsweekend/>  
※夏期休業期間中の事務取り扱いは本学ウェブサイトでご確認ください。

## 大学学費 後期納付のご案内(学部) ※大学院の学費納付については、大学院要覧を参照してください。

### 【納付期限】9月30日(水)

#### 1) 振込依頼書について

##### a. 2014年度以前入学者

4月中旬にお送りした学費振込依頼書の「B後期分」をご利用ください。なお、教職・各種資格課程を申請した方は納入金額に変更が生じています。該当者には7月1日(水)に金額変更済みの振込依頼書を送付しました。

##### b. 2015年度入学者

##### ① 入学手続時に前期分の学費を納入された方

7月1日(水)に後期分の学費振込依頼書を送付しました。教職・各種資格課程を申請した方には、後期学費に課程料を加算しています。

##### ② 入学手続時に前後期分の学費を一括納入された方

教職・各種資格課程を申請した場合、課程料の振込依頼書を7月1日(水)に送付しました。記載金額をお振り込みください。

#### 2) 納付にあたって

入金確認のため、送付された学費振込依頼書を用いて、金融機関の窓口で納付してください。ただし、ATM・インターネットバンキングの利用を

希望される場合は、学費振込依頼書と同封の案内文に記載されている注意書きに従って手続きしてください。

#### 3) 分納・延納について

学生ポータルに掲載しています。

#### 4) 学費に関するご相談・お問い合わせ

振込依頼書裏面記載の《ご相談・お問い合わせ先》にご連絡ください。

### 2015年度後期学費一覧表(2012～2015年度入学者) 単位:円

学部	金額
文学部	391,500
教育人間科学部	
経済学部	
法学部	
経営学部	
国際政治経済学部	565,500
総合文化政策学部	
理工学部	565,500
社会情報学部	478,500
地球社会共生学部	478,500

○教職・各種資格課程を申請した方は別途課程料が加算されます。  
○休学・留年・卒業延期・転部・転学部・学科・編入学・再入学をした方は、左記学費一覧表と異なる金額が適用される場合があります。

## 4年次において留年した学生の後期分学費納付について

4年次で留年した場合、履修登録単位数によって学費が異なります。振込依頼書は10月16日(金)発送予定です。

### 【納付期限】11月10日(火)

#### 1) 前期分学費を所定の学費で納入した方

→後期の学費は、4年次所定の後期学費(後期授業料)となります。

前期・通年科目申請単位数で、既に「年間所定の学費上限金額」に達しています。

そのため、後期科目申請単位数に関係なく、前期分・後期分とも所定の学費を適用します。

#### 2) 前期に申請単位計算学費で納入した方

→後期学費は、下記の計算式で算出した、単位計算学費となります。

**単位計算学費=後期科目申請単位数×単位料**

ただし、上記で算出した後期分の単位計算学費と前期納入済金額の合計が「年間所定の学費上限金額」に達した場合は、下記の計算式で算出した金額を適用します。

**後期納入必要額=年間所定の学費上限金額-前期納入済額**

振込依頼書再発行のご依頼(未着、汚破損、紛失など)・納入必要予定額の確認は、財務部資金課にお問い合わせください。

財務部資金課 TEL.03-3409-6479(直通)

## 2015年度 公開講座

本学では、地域社会への貢献という使命から、大学における教育および研究の成果を広く社会に開放する公開講座を開催しています。各キャンパスでさまざまなテーマの講座を用意して皆さまのご参加をお待ちしております。

### 青山キャンパス(渋谷区教育委員会後援)

9/19～10/24 毎週土曜日 全5回 宗教と美術

11/7～12/5 毎週土曜日 全5回 子どもと大人の適切な関係って?

### ■ 受講料 無料

詳細につきましては、本学ウェブサイト(<http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/extension/>)をご覧ください。  
庶務部庶務課 公開講座担当

### 相模原キャンパス(市民大学青山学院大学コース)

10/17～11/14 毎週土曜日 全5回 学際的思考でスポーツ・健康の本質に迫る

■ 対象 原則として相模原市・座間市に在住か在勤または在学の15歳以上の方(該当者を優先します)

■ 申込期間 9月1日(火)～9月14日(月)必着

■ 受講料 1,000円

■ 問い合わせ先 さがまちコンソーシアム事務局 TEL.042-703-8550



## 第22回 青山学院大学同窓祭 AOYAMA GREEN FESTIVAL 2015



2015年 9月23日(水・祝) 10:00～17:00

どなたでも無料でご入場いただけます! 会場内での買い物やイベントに参加される際は、「イーゴ券」が必要となります。



前売 2,000円 (イーゴ20枚綴り・福引抽選券1枚付き)

当日売 1,000円 (イーゴ10枚綴り・福引抽選券なし)

AOYAMA GREEN FESTIVAL(青山学院大学同窓祭)の詳細はウェブサイトをご覧ください!  
URL:<http://aogaku-doso.jp/>



問い合わせ先▶青山学院大学同窓祭実行委員会事務局  
[月～金 10:00～16:00] TEL.03-3409-8990

主催:青山学院校友会大学部会 協力:青山学院校友会、女子短期大学同窓会、高等部同窓会、中等部緑窓会、初等部くすのき会、幼稚園いとすぎの会



## メインイベントに原監督登場!

17号館6階 本多記念国際会議場(時間については、正式に決まり次第ウェブサイトでご報告します)

2015年の箱根駅伝で本学を初優勝に導いた名将、大学陸上競技部の原 晋監督によるトークショーを開催します。弱小チームを強豪に育て上げたその秘密は……? 仕事はもちろん、子育てにもすぐに役立つ新時代のリーダーシップ論やコミュニケーション論に乞うご期待! 箱根駅伝秘話もお楽しみに。

3イーゴ以上(メインイベントにお寄せいただいたイーゴ券は、すべて大学陸上競技部の活動資金として寄付いたします)

# 「青山学院 EVERGREEN150募金」ご支援のお願い

～すべての人と社会のために～

2014年11月に創立140周年を迎えた青山学院では、150周年に向け新たに「青山学院 EVERGREEN150募金」をスタートしました。  
在校生保証人の皆さま方に募金趣意書をお送りするにあたりご挨拶申し上げます。

本学はこれまで、キリスト教信仰にもとづく教育研究を通じて、真理を謙虚に追求し、地球規模の視野を培い、スクール・モットーである「地の塩、世の光」たる人間を育成し、社会への貢献を積極的に果たしてまいりました。中でも学生の個性を尊重し、主体的な学びを通じて学問の面白さに気付かせ、やがて己に自信を持ち将来に夢と希望を抱く学生の育成に努めてまいりました。

本学の責務は、かかる成果を目指して教職員と学生の諸活動を支援し、「地の塩、世の光」を体現するサーバント・リーダーの育成のためにさらなる発展を果たしていくことです。

このためには、グローバル対応をはじめとする教育研究環境のさらなる整備が必要です。青山キャンパスの図書館建設と校舎整備、相模原キャンパスでの国際学生寮の整備等が急務となっております。皆さまには学生支援事業に積極的にご参加いただき、学生の成長さらには大学発展の一翼を担っていただければ幸いです。ミッション系大学のリーダー校として、今後とも教育研究を通じて学生の育成の責務を果たしてまいります。



学長 仙波 憲一

青山学院は創立140周年を機に150周年に向けて、さらなる飛躍を遂げるために『AOYAMA VISION』を策定しました。「青山学院 EVERGREEN150募金」は、このビジョン実現と在校生支援のためにご支援をお願いする募金です。

在校生一人一人が世界に一つしかない「青山学院大学」という学び舎で充実した大学生活を送り、スクール・モットー「地の塩、世の光」を体現するサーバント・リーダーとして世界に羽ばたいていくために、充実した学習・教育研究環境を整えていきたいと願っております。

在校生保証人の皆さま方には、この度、募金趣意書を同封させていただきました。本学が目指すビジョンにご理解とご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

資料請求  
問い合わせ先

青山学院エバーグリーン募金推進本部

TEL : 03-3409-6208 FAX : 03-3409-3890

E-mail : bokin@aoyamagakuin.jp

<http://www.aoyamagakuin.jp/support/index.html>

≫インターネットからのご寄付も可能です。

青山学院 募金

検索



## Club & Circle 28 少林寺拳法部

### 護身術として女子にもオススメ。全国大会入賞も狙えます。

週4日、青山キャンパス記念館の地下道場で活動しています。部員は男子14名、女子7名。初心者が多いのでメインは基本練習ですが、演武や防具を着けての運用法なども練習します。夏には、全国の大学少林寺拳法部が集う香川県の少林寺拳法本部の合宿に参加。他にも、合同練習会や出稽古など、他校と交流する機会が多くあります。

昨年度は、「全日本学生大会」女子立合評価法の部で上西絵梨香が2位。私は女子二段以上の組演武に出場して初めての予選通過を果たし、組演武の楽しさ、少林寺拳法の楽しさを改めて実感できました。

大学から少林寺拳法を始める人も多く、初心者でも全国大会入賞が狙え、過去には世界大会で入賞した先輩もいます。武道ということで女子は怖いイメージを持つかもしれませんが、全くそのようなことはありません。力の弱い女子が身を守るための護身術としてもオススメです。興味がある方はお気軽にご連絡ください。

(主将：経営学部 経営学科3年 久遠 華 記)



## AGU NEWSについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGU NEWS」を年4回(2月、5月、7月、10月)発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内専用スタンドにて配布しています。

●バックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。

●確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、学生ポータルを利用し、**学生本人が変更手続きをしてください。**



発行元：青山学院大学 入学広報部  
TEL : 03-3409-8627

本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます©2015青山学院大学

●2015年7月31日発行●